

富山小学校だより



No. 16

2学期のゴール、平成23年・2011年のゴールを前に

早いもので、あともう少して2学期の終業式(12月22日(木))です。そして、平成23年、2011年のゴールも迎えようとしています。

保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご支援をいただき、お陰様で、子ども達は元気に様々な活動ができました。2学期は行事もたくさんありましたが、どの行事に対しても子ども達のひたむきに頑張る姿勢に、感動しました。

冬休みも近づいてきました。子ども達には、安全で楽しい冬休みを過ごしてほしいです。そして、新年を迎えて、新たな目標をもち、1年間頑張ることへの計画をたて、元気いっぱい3学期がスタートできることを期待しています。

新年もかわりませず、ご支援とご協力のほど、どうかよろしく願いいたします。



「富山田植えばやし」から学んだこと

大田市連合音楽会での「富山田植えばやし」の発表については、学校だよりNo. 14で紹介(富山町文化祭での発表は、No. 15)しておりますが、今回の学校だよりでは、私自身が子ども達と一緒に、「富山田植えばやし」に取り組んできて、学んだことや思ったことについて記載します。この私の考えや思いを子ども達に伝えたくて、12月7日(水)の全校朝会で子ども達へ「富山田植えばやし」についての話をしております。



私は胴太鼓に取り組みました。子ども達は、田植えばやし保存会の皆様からのご指導と本校教職員の指導により、みるみる上手になっていきました。私は、子ども達を指導するというよりも、自分の演奏のことで精一杯でした。私の演奏は、子ども達の上達のスピードにはついていけませんでした。子ども達の中に入って練習していると、その場の全体の雰囲気を感じながら、子ども達と一緒に練習に打ち込むことができ、大変楽しい時間を過ごすことができました。本番では心地よい緊張感を味わうことができました。

私が「富山田植えばやし」から学んだり思ったりしたのは、次の三つのことです。

1 練習をしっかりと頑張れば、たくさんの人の前でも、堂々と発表できること

大田市小・中学校連合音楽会の時、子ども達は、人数は少なくても、大きな声を出したり、自信をもって演奏したり、リズムに合わせて元気よく流れるように大きく動きながら発表していました。子ども達の表情を観ると、堂々としており、感心しました。

音楽会だけでなく、自分の前に、いくら人がたくさんいたとしても、練習さえしっかり

としておけば、堂々と発表できるんだ！！と強く思いました。

2 みんなでつくりあげるためには一人一人の力があること

まずは、自分のパートの仲間と音や動きをそろえないといけません。そして、パートだけでなく、全体がそろわないといけません。一人でもそろっていなかったら、全体がそろわなくなり良い演奏にすることができません。

子ども達と職員のみんで、力を合わせてつくりあげた演奏です。これは、一人一人が自分のやるべきことをきちんとしてきたからこそ、できたと思います。一人一人の力を合わせることの大切さを、深く考えさせられました。そして、みんなでつくりあげていくことの楽しさを味わいました。

3 地域の伝統を大切にすること

富山地区の伝統である「富山田植えばやし」に取り組んできて、子ども達に地域の伝統を大切にする気持ちを、今後も育てていってほしいなと思いました。子ども達が、練習を頑張り、本番で堂々と発表したのは、地域の伝統を大切にすることにつながると思います。

また、中学生が、毎年、富山町民体育大会で、練習をしなくてもすぐに「富山田植えばやし」ができるのは、小学生の時にしっかりと練習してきたことが、体にきちんと残っているからだと思います。これも地域の伝統を大切にすることだだと思います。

子ども達には、この活動から学んだことを、今後の様々な活動に生かしてほしいです。私も、この貴重な学習、そして素晴らしい思い出を、今後も大切にしていきたいです。

富山町文化祭での「富山田植えばやし」発表の写真

(11.20(日) 於 富山小体育館)



【本校の「富山田植えばやし」の取組についての説明】



【唄と「さきら」】



【早乙女】



【代平し】



【横笛と綱持ち】



【胴太鼓】



【小太鼓と綱持ちとチャカ】